

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
さわやか愛の家ひた館		2026年 2月 13日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	4	学習や机上課題等で静かに過ごす空間と運動などを行う空間を適宜分けております。また集団活動の内容によってその都度環境を整えております。	児童の成長に伴い、使えるスペースが限られてくるので、適宜整理整頓に努め、利用児童も使ったものを片付けやすい様にさらなる構造化が必要であると考えます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	保育士に加えて、機能訓練指導員を配置しており、 集団活動や個別での関わりに対応出来る環境を整えております。	職員数と児童数を踏まえながら、状況に応じ、 適宜職員の確保を行なって参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	来所持からの見通しボードを使用しております。また個人用のスケジュールボードも必要に応じて使用しています。屋内の段差はありません。	コーナー分けがあると、自ら選択して遊べるようになると考えております。 2階を使用する際は階段昇降が必要で危険を伴う事が課題ですので、必ず職員が付き添っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	毎日清掃を行なっております。また、活動に応じて机の配置等を調整しております。	2階の使用頻度が多くはない為、1階に比べると清掃の頻度が少ないため、業務分担で決められた日には必ず2階の清掃を行うようにして参ります。使った物を戻す場所を分かりやすい様に工夫して参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	個別に関わる際や、クールダウンの際に必要なに応じて個別の部屋を使用できるようにしております。	日ごろより整理整頓をし、物が少ない環境を心掛けて参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	朝礼や終礼時その他職員会議の際により多くのが業務改善に関して意見交換を行っております。	職員が休みの時など話し合いに参加出来ない場合にはその職員の意見も反映出来るように工夫して参ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者の意向を把握し、業務改善につなげております。	保護者様から頂いたご意見は業務改善につなげられるように次年度の散り組みに反映させて頂いておりますが、改善が必要な点もあります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎日の朝礼、終礼、定期的にある職員会議等で意見を発信する機会を設けております。活発な意見交換が行えております。決まった内容は速やかに業務改善に繋げております。	全ての内容が業務改善につながってはいない現状にある為、工夫が必要であると考えます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	毎年内部監査等で、アドバイス頂いた内容を業務改善につなげております。	今後も外部評価の機会を設けて参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	法人内でのスキルアップ研修を毎月行っております。その他、研修の情報は職員間で共有しながら、興味のある研修会等に参加が出来る状況です。	外部研修の伝達方法の工夫や伝達を行うための時間の確保が課題と考えられます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	職員で意見交換を行いながら、作成が出来ております。	より、専門的な視点からのプログラム作成が行なえると良いと考えます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	本人、保護者との面談をできる限り多く取りながら、ニーズ、課題の抽出を心掛けております。	ご家庭によっては十分な面談の時間を確保する事が難しい場合がありますので、アセスメントシートの工夫や電話等様々な方法で正確なアセスメントが行えるように工夫して参ります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	保育士、機能訓練指導員等全職員が参加し意見交換を行い、支援内容を検討した上で作成しております。	全職員が参加出来ない場合もあるので、工夫が必要であると考えます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	計画書の内容は全職員が周知できるようにしております。	計画書の内容を確認する日にちを予め決めておくような工夫を行って参ります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	様々な職種による視点でアセスメントを行っております。	日々の様子の記録などは職種で固まらないように一人の児童に対して多くの職種の様々な視点で様子観察出来るように工夫して参ります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	多職種連携により、様々な意見の元で支援内容を設定しております。	移行支援、地域連携等事業所外の関係機関との連携を強めて参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	保育士、機能訓練指導員の目線で活動プログラムを立案しております。	年齢、能力に応じて適宜プログラム内容を調整して参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	運動や、制作などテーマごとにプログラムを設定しており、固定化しないよう工夫しております。	更なる活動の充実に向けてより多くの活動を企画して参ります。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	状況に合わせた個別、集団の組み合わせの元、計画書の作成、支援を行っております。	集団、個別の適切な組み合わせが行えるように今後も工夫して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	午前集のミーティングの時間を利用し、打ち合わせを行っております。	職員に偏りがでないように配慮して参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	終礼時を利用し、支援内容の振り返りを行っております。業務時間外にかかりそうな場合は翌日朝のミーティング時に持ち越す等の工夫を行っております。	振り返りの時間が十分に取れなかった場合は、翌日の朝礼時には必ず行うようにします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	毎日客観的な視点で記録を取るよう心がけております。	支援の検証に記録を使う機会が増えるよう、モニタリング時等に活かして参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的なモニタリングを行っております。	職種それぞれの目標を活かしより充実したモニタリングが行えるよう配慮して参ります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	地域社会との交流の機会の提供が増えるようにイベント等の企画、実行を行っております。	自己選択、自己決定が行ないやすい環境への配慮に力を入れて参ります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	集団活動等も基本的に本人に「する」「しない」の判断を仰いております。余暇時間も自分でしたいことが選択できるように配慮しております。	能力に応じて、自己選択、自己決定の支援が出来るように工夫して参ります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	状況に応じて、機能訓練指導員等の専門職が出席しております。	職員誰もが一人ひとりのご利用児の状況が分かるように、情報共有に力を入れて参ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	担当者会議等への出席での情報共有や地域自立支援協議会こども部会での連携も図っております。	緊急時を除き、医療との連携が十分に行えていないという課題があります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	担当者会議や送迎時、または必要に応じて連絡を取りながら適宜情報共有を行っております。	送迎に十分時間が取れない場合も考慮し、送迎がゆとりを持って行えるような時間配分を行って参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	児童発達支援からご利用されたご利用児に関しての共有は会議等を通して行っている。	放課後等デイサービスから利用された児童の就学前に利用していた園との情報共有はまだ十分とはいえませんので、園との連携を図って参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	現在対象者がおりませんが、今後連携を取りやすいように就労支援B型事業所との合同イベント等を今後も継続して参ります。	地域自立支援協議会で就労部会との連携を図りながら、成長段階における切れ目のない支援が行えるように努めて参ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	適宜、地域の児童発達支援センター主催の研修会に参加しております。	今後も必要に応じて、個別事案に関して助言等の依頼を行って参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	地域のこどもたちとの合同イベントを行っておりますので、今後も継続して参ります。	今後は、地域の住民の方もイベントへご招待していく事を検討しております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	参加しております	管理者だけでなく多職種も参加できるように調整して参ります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時の情報共有や電話連絡、LINEやInstagramなどのSNSを通じた情報共有も適宜行っております。	状況に合わせて専門職が保護者と話せるように送迎の組み合わせを工夫して参ります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	ペアレントトレーニングの研修への参加を行っております。	ご家族向けの研修会の実施を保護者会を通じて実施する事を検討して参ります。職員のスキルの為の研修会を実施致します。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	適宜説明を行っております。できる限り直接お話できるように調整しております。	こちらからの一方的な説明にならないよう配慮して参ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	本人・ご家族との面談等を通して意向の確認を行っております。面談の時間が十分に取れない場合は電話連絡等その他の手段を講じております。	意思表示が難しい方への意思決定の支援に今後力を入れて参ります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	児童発達支援管理責任者が送迎に同伴する等し、直接説明をさせて頂いております。	説明の時間が十分とれるように送迎の組み方等の配慮を行って参ります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	ご家族からの相談があった場合は、児発管が基本的に対応しますが、多職種の意見も踏まえ、助言や支援が行えるようにしております。	気軽に相談に乗って頂けるよう信頼関係の構築に今後も務めて参ります。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	毎年保護者会を開催し、その中で、保護者間での交流の機会を設けております。	多くの保護者にご参加頂けるように、開催日や時間帯の工夫を行って参ります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	対応の体制は整備出来ております。	保護者の方との信頼関係や相談しやすい関係づくりに注力して参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	連絡帳では毎日の様子を言葉だけでなく、写真でもお伝えしております。定期的にInstagram、ブログにて活動の様子をお伝えしております。	多くの保護者の方に見て頂けるよう今後も工夫して参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	契約時に説明させて頂き、同意を得た上で同意書へのサインを頂いております。担当者会議を除き、事業所外へ情報を持ちだす事はありません。	今後も環境整備に注力して参ります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	絵カードの使用等様々な意思伝達の媒体を使用し、意思表示が行ないやすい環境に努めております。	意思伝達に関して職員のスキルアップに努めて参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	地域のこども会との合同イベントを実施しております。	今後も事業所のイベントの告知を地域に発信しより多くの方に参加して頂けるよう情報発信の方法等適宜工夫して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	それぞれのマニュアルを策定しており、それぞれに応じた訓練を行なっております。訓練内容はSNS等でご家族へお伝えしております。	実施した燻煙内容をより多くのご家族へ見て頂けるようにご家族への発信に関して力を入れて参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	策定しております。また、定期的に訓練と備品等のチェックを行なっております。	日ごろから災害を想定して、準備して参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に確認しております。	てんかんの対象者はいませんので、今後状況に応じて対応して参ります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	契約時に確認しております。	現在、食物アレルギーをお持ちの利用者がおられませんので、適宜対応して参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を策定しており、その計画に沿った、研修訓練を定期的に行っております。	備品の確認や整備にもこれまで以上に力を入れて参ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	訓練内容やその時の様子等について適宜送迎時やSNS等で発信しております。	多くのご家族へ見て頂けるようにご家族への発信に関して力を入れて参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	適宜報告、共有しております。	件数自体が少ない為、ヒヤリハット報告書が増えるように、どんな小さい事での報告するように意識の変化を図っていく事が重要であると考えます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修を定期的に行っております。	職員間で些細な事でも意見交換が行えるようさらに意識して参ります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	事案を確認、委員会への報告を経て、組織的に決定しております。	今まで以上に職員間で意見が出やすい意見交換が行いやすい環境に努めて参ります。